

ITF(国際運輸労連)が5か年ビジョンを提起…世界大会へ 「世界を動かす交通運輸労働者」メインテーマに

ITF(国際運輸労連)は、5月14～15日に港湾部会委員会を開催し、続いて16～17日に公正慣行委員会運営委員会を開催した。両会議では、10月に開催される世界大会に向けた5か年間の行動計画(案)を中心に討議が行われた。行動計画のメインテーマは「世界を動かす交通運輸労働者」として、地球規模で展開する物流の要に交通運輸労働者が存在しており、交通運輸労働者が「あらゆる労働者の軸となつて巨大な荷主を社会的に規制する力があるし、そのため運動が求められている」と強調された。

変化のための6つの指針を掲げて

世界大会での向こう5年間の行動計画の具体的な指針として、「変化のための指針」を軸にした6つのテーマが提起されている。第一は「権利」で、基本的な労働権(組合権等)を守り追求していくことで、今も組合を作ろうとすれば、リーダーが命の危険に晒される国々があり、基本的な権利の抑圧に対してたかいたを展開していくこと。

第二は、「平等」で、女性・青年、人種などあらゆる差別と不平等を根絶し、すべてを包み込んだ当たり前に変わりない機会均等を求めるたかいたを進めること。

第三は「安全衛生」で、安全・安心の職場環境を創り出すこと、そのための訓練や教育の実践的推進。

第四は、「仕事の未来」で、技術革新の導入に対す

る雇用確保を前提とした労働組合の関与の促進、組合員や労働者を奪う機械化には抵抗していくこと。
第五は、「供給連鎖の責任」で、サプライチェーン(供給連鎖)の全ての利害関係者に適切な労働基準に対する責任を負わせること。
第六は、「持続可能な交通運輸」で、ゼロ炭素めざす交通運輸システムの構築



II 港湾部会委員会 II 国際港湾会社の横暴 のたたかい

とに断固としたたたかいは必要と呼び掛けられた。ILWUの代表は残念だが、これを許さないたたかいを続ける」と力強く決意を表明し、参加者一同がこれを支援する意思統一が図られた。
公正な移行・荷主への説明責任追求
ゼロ炭素化への港湾労働者の「公正な移行」を掲げた運動も多く報告された。

III 公正慣行委員会運営委員会 III

公正慣行委員会運営委員会には、玉田書記長が運営委員として出席し、アドバイザーとして真島委員が参加した。討議では、インスペクターの活躍でITF協約船の拡大や船員の未払い賃金の回収などが進んでいること、便宜置籍船(FOC)・POCC(便宜港湾)キャンペーン強化などが確認された。

便宜置籍船(FOC)・POCC(便宜港湾)キャンペーン強化
港湾労組と船員組合の連帯の促進

会議の主な議題の第一は、FOC船に係る諸協約の締結状況、協約内容と今後の改善の方向性などの検討であった。その中には、中東での紛争やロシアのウクライナ侵略の戦禍から船員の安全を確保するために紅海とアデン湾の状況をより詳細に検討し対策を講じていくよう確認された。また、ロシアがITFを「危険組織と指定」し、船員の権利を停止している状況から、ロシア船への対応について慎重に検討することになった。

風力発電を巡って、この事業での港湾作業が「発電建設企業とその関係労働者に委ねられようとした」ことへのILWA(米国東岸港湾労組)の運動が象徴的であった。欧州各国の港湾労組は、風力発電に係る荷役作業は港湾の仕事として定着しつつあり、ILWAの運動をITFとしてサポートしながら、世界に「公正な移行」の実践例として広げることの確認が行われた。

サブライチエーションの「説明責任」では、倉庫・鉄道・トラック各事業と船舶輸送の要の位置に港湾があり、すべての事業分野に影響を及ぼすことができる港湾労働組合こそ、サブライチエーションの「説明責任・荷主への影響力行使」を追求できると確認され、この運動への港湾労組の関与の重要性を踏まえ、「各輸送モードの組織化」を中心とした取り組みが再確認された。

第二の課題は、船員がラッシュンク作業を行うITF協約違反の問題であった。ITFのFOCキャンペーンは昨年75周年を迎えた。ITFは、これを総括し、「ラッシュンクは港湾労働者の仕事」のキャンペーンの強化が確認された。

第三の課題は、FOC/POCC キャンペーンとの関係で、各国が自国の旗を掲げる船舶に対して何が真正な関係者を意味するの定義を推進すること、船舶の登録条件に関する国連条約改正の検討を含む船舶登録慣行の見直しを事務局を中心に具体化を図ることを確認した。

第四の課題は、船員・港湾が取り組む諸課題に相互に連携し推進することで、各国で港湾労働組合が取り組む争議を含めたたたかへの連帯が強調された。



ITFとは?

ITFは、交通運輸労組の世界的組織である国際運輸労連(International Transport Workers Federation)の略称です。世界147カ国の670組合の連盟であるITFは、組合員1970万人を代表しています。ITFは、スト破りに対抗するための国際組織の必要性を認識した欧州の船員組合と港湾労働者組合の指導者によって、1896年にロンドンで結成されました。現在ITFは、海運・港湾・鉄道・路面・貨物旅客輸送・内陸水運・水産・観光・民間航空で働く労働者を組織しています。ITFは、世界レベルで

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会



交通運輸労働者を代表し、グローバル・キャンペーンと連帯を通じて交通運輸労働者の利益を促進します。また、独立した民主的な労働組合運動の発展と基本的な人権・労働組合権の擁護にも寄与しています。あらゆる形の全体主義、暴力、差別にも反対しています。ITFは、国際労働組合総連合(ITU)と共に活動する国際産別組織(GUF)のひとつです。